



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年5月11日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニチレイ
 コード番号 2871 URL <https://www.nichirei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大榎 顕也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大淵 正 TEL 03-3248-2165
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|---------|------|--------|-----|--------|-----|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 572,757 | △2.1 | 32,949 | 6.2 | 33,532 | 5.5 | 21,212 | 8.2 |
| 2020年3月期 | 584,858 | 0.8 | 31,035 | 5.2 | 31,777 | 6.4 | 19,609 | △1.7 |

(注) 包括利益 2021年3月期 25,609百万円 (59.1%) 2020年3月期 16,100百万円 (△15.1%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2021年3月期 | 159.19 | — | 10.9 | 8.4 | 5.8 |
| 2020年3月期 | 147.16 | — | 10.9 | 8.3 | 5.3 |

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 376百万円 2020年3月期 387百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 405,719 | 210,426 | 50.1 | 1,525.76 |
| 2020年3月期 | 390,004 | 191,388 | 47.3 | 1,384.90 |

(参考) 自己資本 2021年3月期 203,325百万円 2020年3月期 184,504百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年3月期 | 45,453 | △32,213 | △10,709 | 28,011 |
| 2020年3月期 | 39,441 | △24,300 | △10,225 | 25,434 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2020年3月期 | — | 21.00 | — | 21.00 | 42.00 | 5,595 | 28.5 | 3.1 |
| 2021年3月期 | — | 22.00 | — | 28.00 | 50.00 | 6,663 | 31.4 | 3.4 |
| 2022年3月期(予想) | — | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 | | 29.0 | |

(注) 2021年3月期末配当金の内訳 普通配当22円00銭 創立75周年記念配当6円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 600,000 | 4.8 | 35,000 | 6.2 | 35,500 | 5.9 | 23,000 | 8.4 | 172.59 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 2021年3月期 | 140,003,877株 | 2020年3月期 | 139,965,587株 |
| 2021年3月期 | 6,741,928株 | 2020年3月期 | 6,739,790株 |
| 2021年3月期 | 133,251,575株 | 2020年3月期 | 133,251,330株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項や注意事項等については、添付資料8ページ「2 今後の見通し」及び11ページ「注意事項」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. 【経営成績等の概況】 | 2 |
| 1 当期の経営成績・財政状態の概況 | 3 |
| 2 今後の見通し | 8 |
| 2. 【会計基準の選択に関する基本的な考え方】 | 12 |
| 3. 【連結財務諸表及び主な注記】 | 13 |
| 1 連結貸借対照表 | 13 |
| 2 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 15 |
| 連結損益計算書 | 15 |
| 連結包括利益計算書 | 16 |
| 3 連結株主資本等変動計算書 | 17 |
| 4 連結キャッシュ・フロー計算書 | 19 |
| 5 連結財務諸表に関する注記事項 | 20 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 20 |
| (追加情報) | 20 |
| (未適用の会計基準等) | 20 |
| (連結貸借対照表関係) | 22 |
| (連結損益計算書関係) | 23 |
| (連結包括利益計算書関係) | 25 |
| (連結株主資本等変動計算書関係) | 26 |
| (連結キャッシュ・フロー計算書関係) | 27 |
| (セグメント情報等) | 28 |
| (1株当たり情報) | 32 |
| (重要な後発事象) | 32 |

1. 【経営成績等の概況】
 主要な連結経営指標等の推移

| 回次 | | 第99期 | 第100期 | 第101期 | 第102期 | 第103期 |
|------------------------|-------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 決算年月 | | 2017年3月 | 2018年3月 | 2019年3月 | 2020年3月 | 2021年3月 |
| 売上高 | (百万円) | 539,657 | 568,032 | 580,141 | 584,858 | 572,757 |
| 営業利益 | (百万円) | 29,309 | 29,897 | 29,511 | 31,035 | 32,949 |
| 経常利益 | (百万円) | 29,105 | 30,650 | 29,864 | 31,777 | 33,532 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | (百万円) | 18,751 | 19,097 | 19,943 | 19,609 | 21,212 |
| 包括利益 | (百万円) | 22,668 | 23,767 | 18,956 | 16,100 | 25,609 |
| 純資産額 | (百万円) | 164,747 | 169,680 | 183,805 | 191,388 | 210,426 |
| 総資産額 | (百万円) | 346,195 | 367,268 | 377,257 | 390,004 | 405,719 |
| 1株当たり純資産額 | (円) | 1,156.52 | 1,221.04 | 1,326.81 | 1,384.90 | 1,525.76 |
| 1株当たり当期純利益 | (円) | 135.11 | 142.23 | 149.65 | 147.16 | 159.19 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | (円) | — | — | — | — | — |
| 自己資本比率 | (%) | 46.0 | 44.3 | 46.9 | 47.3 | 50.1 |
| 時価ベースの自己資本比率 | (%) | 109.5 | 106.7 | 96.4 | 104.4 | 93.6 |
| 自己資本当期純利益率 | (%) | 12.1 | 11.9 | 11.7 | 10.9 | 10.9 |
| 株価収益率 | (倍) | 20.4 | 20.7 | 18.2 | 20.8 | 17.9 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | 40,828 | 29,859 | 31,311 | 39,441 | 45,453 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | △11,445 | △20,269 | △17,918 | △24,300 | △32,213 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | △21,883 | △13,749 | △9,088 | △10,225 | △10,709 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | (百万円) | 20,512 | 17,076 | 20,668 | 25,434 | 28,011 |
| 従業員数 (ほか年間平均臨時雇用者数) | (名) | 14,682 (2,975) | 15,787 (2,962) | 15,710 (2,918) | 15,824 (2,922) | 15,383 (2,708) |
| 有利子負債 (リース債務を除く) | (百万円) | 89,778 (70,866) | 97,745 (79,844) | 95,951 (78,923) | 96,351 (80,669) | 96,423 (80,757) |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | (年) | 2.2 | 2.5 | 2.6 | 2.7 | 2.1 |
| 金融収支 | (百万円) | △237 | △80 | 1 | 105 | 170 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | (倍) | 44.9 | 41.7 | 42.8 | 45.3 | 64.0 |
| 設備投資等の金額 | (百万円) | 13,887 | 24,952 | 24,132 | 27,287 | 37,776 |
| 減価償却費 | (百万円) | 16,057 | 16,155 | 17,481 | 18,355 | 19,669 |
| 自己株式数 | (株) | 10,322,296 | 6,655,050 | 6,658,466 | 6,739,790 | 6,741,928 |
| 連結子会社数 | (社) | 66 | 68 | 69 | 72 | 73 |
| 持分法適用関連会社数 | (社) | 17 | 16 | 15 | 16 | 16 |

- (注) 1 「売上高」には、消費税等は含まれておりません。
 2 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 3 2016年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。第98期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。
 4 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第101期の期首から適用しており、第100期に係る主要な連結経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

1 当期の経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績全般

当期における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大により急速に落ち込んだことから、各国政府は大規模な財政出動により景気の下支えを図ってきました。また、わが国経済においても、企業業績の二極化が進むなか、感染の再拡大により経済活動への懸念が広がり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

食品関連業界では、外出自粛により外食需要が低迷する一方、巣ごもり消費による内食・中食需要が高まるなど、食生活のスタイルに大きな変化が生じ、これらの変化を見据えた業態転換を模索する動きが見られました。また、労働力不足や新型コロナウイルス感染防止に対応すべく、先端技術を活用した自動化や省人化へ向けた動きも加速しました。

当社グループは、生活を支える社会的基盤として、従業員を含むサプライチェーン上の安全に十分配慮したうえで企業活動を行い、経営環境の変化を的確に捉えながら「持続的な利益成長」と「豊かな食生活と健康を支える新たな価値の創造」の実現に向けた施策に取り組みました。

加工食品事業では、拡大する家庭内での喫食需要の取り込みや生活者ニーズの変化を捉えた新たな需要創造に向けた商品開発や販売活動に注力するとともに、継続的な生産性改善とコストダウンに努めました。低温物流事業では、巣ごもり消費に伴う物流需要を着実に取り込むとともに、運送効率向上や庫内作業デジタル化などの業務革新に取り組みました。

この結果、グループ全体の売上高は、外食向け販売の減少などにより、5,727億57百万円（前期比2.1%の減収）となりました。利益面では、経費抑制や業務効率化に加え、低温物流事業が伸長したことで、営業利益は329億49百万円（前期比6.2%の増益）となり、経常利益は335億32百万円（前期比5.5%の増益）となりました。

特別利益は8億70百万円となる一方、特別損失は、その他の事業のバイオサイエンス事業においてのれんの減損損失を計上したことなどにより総額は27億99百万円となりました。

以上により、親会社株主に帰属する当期純利益は212億12百万円（前期比8.2%の増益）となりました。

[連結経営成績]

(単位：百万円)

| | 当期 | 前期比 | 増減率(%) |
|-----------------|---------|---------|--------|
| 売上高 | 572,757 | △12,100 | △2.1 |
| 営業利益 | 32,949 | 1,913 | 6.2 |
| 経常利益 | 33,532 | 1,754 | 5.5 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 21,212 | 1,602 | 8.2 |

(2) セグメント別の概況

(単位：百万円)

| (セグメント) | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|---------|---------|---------|--------|--------|-------|--------|
| | 当期 | 前期比 | 増減率(%) | 当期 | 前期比 | 増減率(%) |
| 加工食品 | 225,450 | △9,331 | △4.0 | 17,167 | 441 | 2.6 |
| 水産 | 63,095 | △2,676 | △4.1 | 521 | 78 | 17.8 |
| 畜産 | 84,099 | △4,228 | △4.8 | 1,298 | 392 | 43.4 |
| 低温物流 | 212,320 | 5,824 | 2.8 | 13,084 | 1,259 | 10.7 |
| 不動産 | 4,646 | △319 | △6.4 | 2,017 | 35 | 1.8 |
| その他 | 4,899 | △781 | △13.8 | △325 | △44 | — |
| 調整額 | △21,753 | △587 | — | △814 | △250 | — |
| 合計 | 572,757 | △12,100 | △2.1 | 32,949 | 1,913 | 6.2 |

① 加工食品事業

《業界のトピックス》

加工食品業界では、ライフスタイルの変化が新常态として定着するなか「食」へのニーズが急速に変化し、外食向けは低迷する一方で、簡便調理食品や惣菜などの販売が引き続き堅調に推移しました。

《業績のポイント》

中食需要は引き続き好調に推移し、家庭用はチキン加工品や米飯類などの主力カテゴリーを中心に販売が拡大しました。一方、外食需要が低迷したことから業務用は苦戦し、加工食品事業全体では減収となりました。営業利益は経費の抑制や海外子会社の業績が寄与し増益となりました。

(単位：百万円)

| | 当期 | 前期比 | 増減率(%) |
|--------|---------|---------|--------|
| 売上高 計 | 225,450 | △9,331 | △4.0 |
| 家庭用調理品 | 70,318 | 5,486 | 8.5 |
| 業務用調理品 | 86,821 | △12,713 | △12.8 |
| 農産加工品 | 19,981 | 183 | 0.9 |
| 海外 | 34,844 | 3 | 0.0 |
| その他 | 13,485 | △2,291 | △14.5 |
| 営業利益 | 17,167 | 441 | 2.6 |

(注) 海外は2020年1月から2020年12月までの累計期間

家庭用調理品

家庭内での喫食機会が増加するなか、生産能力増強や積極的な販売促進活動などにより、カテゴリー内で売上No.1の「本格炒め炒飯」や「特から」を中心に引き続き販売数量を伸ばしました。また、「極上ヒレかつ」などの新商品も寄与しました。

業務用調理品

巣ごもり消費拡大に合わせ、テイクアウト・デリバリー等に向けたきめ細かな提案や量販店惣菜向けなどへの販売強化に努めたものの、外食向けを中心に販売が減少しました。

農産加工品

家庭内での調理機会の増加に伴い、ブロッコリーやナスなど「そのまま使える」シリーズなどの家庭用商品が好調に推移し、業務用商品の落ち込みをカバーしました。

海外

米国子会社のInnovAsian Cuisine Enterprises社において、需要が増加する家庭用主力商品の調達先を拡大したことなどにより、取扱いが伸長しました。一方、海外全体では円高による為替換算影響を受け前期並みとなりました。

② 水産事業

《業界のトピックス》

世界的に水産品への需要は高い水準を維持しており、調達環境は厳しさを増しています。一方、日本国内では消費者の魚食離れが進み市場が縮小するなか、業界内での競争が激化しています。

《業績のポイント》

主力の「えび」を中心に外食・中食向けの販売が減少しましたが、需要が旺盛な内食向けの「たこ」や「魚卵」の販売に注力し、採算が改善したことにより増益となりました。

③ 畜産事業

《業界のトピックス》

トウモロコシなど穀類相場の高騰で配合飼料の供給価格が上昇し、畜産物の調達価格に影響がありました。また国産鶏肉では、内食需要の高まりにより消費が拡大するなか、国内で発生した疾病による供給不安の影響もあり、相場は上昇傾向で推移しました。

《業績のポイント》

外食・中食向けの輸入品の取扱いが減少しましたが、生協・量販店向けの国産品や加工品の販売拡大に注力したことに加え、豚肉の採算が改善したことなどにより増益となりました。

④ 低温物流事業

《業界のトピックス》

業務用輸入商材などの取扱いが減少し、冷蔵倉庫の庫腹は緩和傾向となりました。また、巣ごもり消費拡大による量販店向け配送業務などが増加しました。

《業績のポイント》

外食など一部の業態向けの取扱いが減少したものの、物流ネットワーク事業におけるTC（通過型センター）事業が好調に推移したことにより増収となりました。営業利益は、増収効果や経費抑制により増益となりました。

(単位：百万円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|----------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 当期 | 前期比 | 増減率(%) | 当期 | 前期比 | 増減率(%) |
| 国内小計 | 172,181 | 6,818 | 4.1 | 12,075 | 1,194 | 11.0 |
| 物流ネットワーク | 102,827 | 1,918 | 1.9 | 5,119 | 969 | 23.4 |
| 地域保管 | 69,353 | 4,900 | 7.6 | 6,956 | 224 | 3.3 |
| 海外 | 36,544 | △1,027 | △2.7 | 1,410 | 172 | 14.0 |
| その他・共通 | 3,594 | 32 | 0.9 | △401 | △107 | — |
| 合計 | 212,320 | 5,824 | 2.8 | 13,084 | 1,259 | 10.7 |

(注) 1 海外は2020年1月から2020年12月までの累計期間

2 地域保管事業に物流ネットワーク事業の業務を一部統合

国内

巣ごもり需要により量販店向けTC事業や家庭用冷凍食品などの保管貨物の取扱いが好調に推移しました。また、業務革新のモデルセンターと位置付ける、名古屋みなど物流センター（2020年4月新設）が安定稼働しました。利益面では増収効果に加え、経費抑制や業務効率化に努めたことなどにより大きく伸長しました。

海外

欧州地域において量販店向け物量は増加しましたが、果汁貨物や外食向け配送業務などの取扱いは低迷しました。利益面では量販店向け業務の作業効率向上や車両調達コストの減少などにより増益となりました。

⑤ 不動産事業

《業績のポイント》

主力である賃貸オフィスビル事業において、一部の大規模リニューアル工事により減収となりましたが、その他の賃貸オフィスビルの収益改善に伴い営業利益は前期並みを確保しました。

⑥ その他の事業

《業績のポイント》

その他の事業のうち、バイオサイエンス事業は、インフルエンザの流行が例年に比べ大幅に縮小したことから迅速診断薬の販売に苦戦し減収となりました。また、米国子会社の業績が低迷し減益となりました。

(3) 財政状態の概況

① 資産・負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度末 | 当連結会計年度末 | 比較増減 |
|-------------------------|----------------------|----------------------|--------------------|
| [資産の部] | | | |
| 流動資産 | 170,308 | 169,572 | △735 |
| 固定資産 | 219,696 | 236,146 | 16,450 |
| 資産合計 | 390,004 | 405,719 | 15,714 |
| [負債・純資産の部] | | | |
| 流動負債 | 108,419 | 108,506 | 86 |
| 固定負債 | 90,196 | 86,786 | △3,409 |
| 負債合計 | 198,615 | 195,293 | △3,322 |
| うち、有利子負債 (リース債務を除く) | 96,351 (80,669) | 96,423 (80,757) | 71 (87) |
| 純資産合計 (うち自己資本) | 191,388 (184,504) | 210,426 (203,325) | 19,037 (18,821) |
| D/Eレシオ(倍) (リース債務を除く) | 0.5 (0.4) | 0.5 (0.4) | △0.0 (△0.0) |

(注) D/Eレシオの算出方法：有利子負債÷純資産

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末より157億円増加し、4,057億円となりました。このうち流動資産は、現金及び預金が増加した一方、未収法人税等が減少したことにより7億円減少し、1,695億円となりました。また、固定資産は、主力事業の収益基盤拡大に向けた設備投資による有形固定資産の増加に加え、投資有価証券の時価評価額が増加したことにより164億円増加し、2,361億円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末より33億円減少し、1,952億円となりました。このうち固定負債は、長期借入金の一部が1年内返済予定となったことにより34億円減少し、867億円となりました。なお、有利子負債は71百万円増加し、964億円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末より190億円増加し、2,104億円となりました。このうち自己資本は、親会社株主に帰属する当期純利益212億円の計上と配当金57億円の支払いの結果、利益剰余金が154億円増加したことにより188億円増加し、2,033億円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

| | 前期連結累計期間 | 当期連結累計期間 | 比較増減 |
|------------------|----------|----------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 39,441 | 45,453 | 6,012 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △24,300 | △32,213 | △7,912 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △10,225 | △10,709 | △483 |
| フリーキャッシュ・フロー | 15,140 | 13,240 | △1,899 |

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で60億円増加し、454億円の収入となりました。経常利益は335億円、減価償却費は196億円を計上し、営業資金（売上債権・たな卸資産・仕入債務）の支出や法人税等の支払い35億円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で79億円減少し、322億円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出285億円や無形固定資産の取得による支出21億円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で4億円減少し、107億円の支出となりました。配当金の支払い57億円やリース債務の返済による支出38億円などによるものです。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は280億円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2017年 3月期 | 2018年 3月期 | 2019年 3月期 | 2020年 3月期 | 2021年 3月期 |
|-----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 自己資本比率 (%) | 46.0 | 44.3 | 46.9 | 47.3 | 50.1 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 109.5 | 106.7 | 96.4 | 104.4 | 93.6 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) | 2.2 | 2.5 | 2.6 | 2.7 | 2.1 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 44.9 | 41.7 | 42.8 | 45.3 | 64.0 |

(注) 各指標の算出方法

- ・自己資本比率：自己資本÷総資産
 - ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産
 - ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債((期首+期末)÷2)÷営業キャッシュ・フロー
 - ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー÷利払い
- 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
 - 2 株式時価総額は、期末株価終値(東京証券取引所市場第一部)×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
 - 3 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている短期・長期借入金、コマーシャル・ペーパー、社債、リース債務の各残高の合計額であります。
 - 4 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローから営業資金(売上債権、たな卸資産、仕入債務)の増減を調整した数値を使用しております。
 - 5 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

2 今後の見通し

(1) 業績の見通し

① 当社グループ全体の予想

昨年来国内外で流行している新型コロナウイルス感染症について、当社グループでは今後ワクチン投与の進展などにより2022年3月期を通して収束・回復局面に向かうことを前提として、事業計画を策定しております。

現時点での2022年3月期の通期の連結業績予想は次のとおりであります。

(単位：百万円)

| | | 通期 | | | |
|----------------------------|-----------------|---------|---------|--------|--------|
| | | 当期実績 | 次期予想 | 比較増減 | |
| | | | | 増減額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 加工食品 | 225,450 | 240,000 | 14,549 | 6.5 |
| | 水産 | 63,095 | 60,000 | △3,095 | △4.9 |
| | 畜産 | 84,099 | 90,500 | 6,400 | 7.6 |
| | 低温物流 | 212,320 | 224,000 | 11,679 | 5.5 |
| | 不動産 | 4,646 | 4,700 | 53 | 1.2 |
| | その他 | 4,899 | 5,600 | 700 | 14.3 |
| | 調整額 | △21,753 | △24,800 | △3,046 | — |
| | 合計 | 572,757 | 600,000 | 27,242 | 4.8 |
| 営業利益 | 加工食品 | 17,167 | 18,200 | 1,032 | 6.0 |
| | 水産 | 521 | 700 | 178 | 34.2 |
| | 畜産 | 1,298 | 1,600 | 301 | 23.2 |
| | 低温物流 | 13,084 | 13,500 | 415 | 3.2 |
| | 不動産 | 2,017 | 1,800 | △217 | △10.8 |
| | その他 | △325 | 200 | 525 | — |
| | 調整額 | △814 | △1,000 | △185 | — |
| | 合計 | 32,949 | 35,000 | 2,050 | 6.2 |
| | 経常利益 | 33,532 | 35,500 | 1,967 | 5.9 |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 21,212 | 23,000 | 1,787 | 8.4 |
| | 1株当たり当期純利益(円) | 159.19 | 172.59 | | |
| E B I T D A | 加工食品 | 23,692 | 26,195 | 2,502 | 10.6 |
| | 水産 | 670 | 892 | 221 | 33.1 |
| | 畜産 | 1,555 | 1,890 | 334 | 21.5 |
| | 低温物流 | 23,557 | 24,612 | 1,054 | 4.5 |
| | 不動産 | 2,730 | 2,569 | △161 | △5.9 |
| | その他 | 55 | 572 | 516 | 935.5 |
| | 調整額 | 356 | 453 | 96 | — |
| | 合計 | 52,618 | 57,183 | 4,563 | 8.7 |
| | REP(連結合計) | 10,167 | 12,466 | 2,298 | 22.6 |

(注) 1 年間の為替レートは、1米ドル106円、1ユーロ125円、1バーツ3.4円を想定しております。

2 売上高、EBITDA及びREPを2022年3月期の役員報酬に係る業績評価指標としております。

REPの算出方法

(税引前当期純利益－持分法投資損益＋支払利息) × (1－実効税率) ＋持分法投資損益－使用資本(期首＋期末) ÷ 2 × WACC

② セグメント別の予想

(イ) 加工食品事業

家庭用調理品において引き続き主力のチキン加工品や米飯類などの品質向上と拡販に努めることや、加工食品事業全体で新常态に対応した商品開発・販売チャネル拡大などの取組みを強化することで増収を見込んでおります。営業利益は生産能力増強投資に伴う減価償却費の増加などが見込まれますが、増収効果や生産性改善などにより増益を見込んでおります。

(ロ) 水産・畜産事業

水産事業は、国内の外食向けや海外販売は厳しい状況が続くと見込まれますが、生活様式の変化に対応して新たな需要を取り込みながら、採算性重視の調達・販売やコストコントロールを徹底し、利益確保に努めます。

畜産事業は、引き続き好調に拡大する内食需要を着実に取り込むとともに、中食向けに加工品の販売を強化し、増収・増益を目指します。

(ハ) 低温物流事業

国内は、引き続き好調な輸配送事業の取り扱い拡大に加え、荷動きの回復による地域保管の在庫改善を図ることで増収を見込んでおります。海外は、欧州での設備能力増強により増収を見込んでおります。また、営業利益面では増収効果に加え、引き続き適正料金の収受などに努めることにより増益を見込んでおります。

(ニ) その他の事業

バイオサイエンス事業において、日本国内における新型コロナウイルス抗原検査キット販売における増収効果や、米国子会社の業績改善などにより増益を見込んでおります。

(2) 設備投資等の状況及び次期の見通し

(単位：百万円)

| | | 設備投資等 | | | | |
|------|--|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 前期 | 当期 | 前期比 | 次期計画 | 当期比 |
| 加工食品 | | 8,054 | 13,438 | 5,383 | 18,887 | 5,449 |
| 水産 | | 209 | 322 | 112 | 374 | 51 |
| 畜産 | | 138 | 110 | △28 | 837 | 727 |
| 低温物流 | | 17,072 | 19,919 | 2,847 | 19,823 | △96 |
| 不動産 | | 476 | 2,300 | 1,823 | 1,460 | △840 |
| その他 | | 256 | 66 | △190 | 159 | 92 |
| 調整額 | | 1,078 | 1,617 | 539 | 1,722 | 104 |
| 合計 | | 27,287 | 37,776 | 10,488 | 43,265 | 5,488 |

(単位：百万円)

| | | 減価償却費 | | | | |
|------|--|--------|--------|-------|--------|-------|
| | | 前期 | 当期 | 前期比 | 次期計画 | 当期比 |
| 加工食品 | | 5,894 | 6,525 | 631 | 7,995 | 1,469 |
| 水産 | | 151 | 148 | △3 | 191 | 43 |
| 畜産 | | 267 | 257 | △10 | 289 | 32 |
| 低温物流 | | 9,840 | 10,473 | 633 | 11,112 | 638 |
| 不動産 | | 701 | 712 | 10 | 768 | 56 |
| その他 | | 410 | 380 | △30 | 371 | △8 |
| 調整額 | | 1,089 | 1,171 | 81 | 1,453 | 281 |
| 合計 | | 18,355 | 19,669 | 1,313 | 22,182 | 2,513 |

《主な設備投資》

当連結会計年度に実施した重要な設備投資の内容は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| 完了年月 | 会社名 事業所名 | 所在地 | セグメントの 名称 | 設備の内容 | 設備投資 総額 | 当期計上額 (既計上額) | 完成後の 増加能力 |
|--------------|---------------------------------------|--------------|--------------|-----------|------------|------------------|------------------|
| 2020年 4月 | (株)ニチレイ・ ロジスティクス東海 名古屋みなと物流センター | 愛知県 名古屋市 | 低温物流 | 物流センターの新設 | 9,992 | 1,335 (9,992) | 冷蔵能力 37,294 t |
| 2020年 6月 | (株)ニチレイフーズ 船橋工場 | 千葉県 船橋市 | 加工食品 | 生産設備の増設 | 2,299 | 2,232 (2,299) | 生産能力 10,000 t |
| 2020年 12月 | GFPT Nichirei (Thailand) Co., Ltd. | タイ チョンブリ県 | 〃 | 第2工場の増設 | 3,328 | 2,607 (3,328) | 月産 1,200t |
| 2021年 3月 | (株)キョクレイ 本牧物流センター | 神奈川県 横浜市 | 低温物流 | 物流センターの新設 | 7,623 | 5,591 (7,623) | 冷蔵能力 30,773t |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

注意事項

この決算短信に記載されているニチレイの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しにみに全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えることが予想されるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

1. ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢及び業界環境
2. 米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
3. 商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
4. 新商品・新サービス開発の実現性
5. 成長戦略とローコスト構造の実現性
6. ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
7. 偶発事象の結果 など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

2. 【会計基準の選択に関する基本的な考え方】

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。
なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 【連結財務諸表及び主な注記】

1 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 25,933 | 28,933 |
| 受取手形及び売掛金 | 82,269 | 81,749 |
| 商品及び製品 | 39,201 | 38,498 |
| 仕掛品 | 889 | 995 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,843 | 8,372 |
| その他 | 14,303 | 11,131 |
| 貸倒引当金 | △131 | △109 |
| 流動資産合計 | 170,308 | 169,572 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | ※3 252,672 | ※3 259,690 |
| 減価償却累計額 | △174,989 | △179,049 |
| 建物及び構築物 (純額) | 77,682 | 80,641 |
| 機械装置及び運搬具 | ※3 106,589 | ※3 115,963 |
| 減価償却累計額 | △78,832 | △82,434 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 27,756 | 33,528 |
| 土地 | ※2, ※3 36,007 | ※2, ※3 38,683 |
| リース資産 | 37,323 | 37,199 |
| 減価償却累計額 | △22,724 | △22,517 |
| リース資産 (純額) | 14,598 | 14,681 |
| 建設仮勘定 | 4,534 | 3,716 |
| その他 | ※3 11,509 | ※3 12,117 |
| 減価償却累計額 | △8,855 | △9,407 |
| その他 (純額) | 2,653 | 2,710 |
| 有形固定資産合計 | 163,233 | 173,962 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,754 | 1,493 |
| その他 | 6,397 | 6,901 |
| 無形固定資産合計 | 9,152 | 8,394 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | ※1 35,780 | ※1 40,506 |
| 退職給付に係る資産 | 57 | 52 |
| 繰延税金資産 | 1,912 | 2,260 |
| その他 | ※1 9,828 | ※1 11,215 |
| 貸倒引当金 | △268 | △245 |
| 投資その他の資産合計 | 47,310 | 53,789 |
| 固定資産合計 | 219,696 | 236,146 |
| 資産合計 | 390,004 | 405,719 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 25,521 | 24,645 |
| 電子記録債務 | 2,939 | 3,427 |
| 短期借入金 | 4,292 | 6,948 |
| コマーシャル・ペーパー | 2,000 | — |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 10,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 956 | 4,797 |
| リース債務 | 3,605 | 3,572 |
| 未払費用 | 34,893 | 35,483 |
| 未払法人税等 | 5,299 | 5,911 |
| 役員賞与引当金 | 228 | 238 |
| その他 | 18,683 | 13,481 |
| 流動負債合計 | 108,419 | 108,506 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 30,000 | 30,000 |
| 長期借入金 | ※2 33,420 | ※2 29,010 |
| リース債務 | 12,076 | 12,093 |
| 繰延税金負債 | 2,830 | 4,265 |
| 役員退職慰労引当金 | 175 | 131 |
| 退職給付に係る負債 | 2,014 | 1,996 |
| 資産除去債務 | 3,935 | 4,037 |
| 長期預り保証金 | 3,044 | 2,121 |
| その他 | 2,698 | 3,129 |
| 固定負債合計 | 90,196 | 86,786 |
| 負債合計 | 198,615 | 195,293 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 30,359 | 30,418 |
| 資本剰余金 | 5,750 | 5,795 |
| 利益剰余金 | 156,953 | 172,436 |
| 自己株式 | △17,642 | △17,648 |
| 株主資本合計 | 175,421 | 191,002 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,016 | 12,344 |
| 繰延ヘッジ損益 | 802 | 1,639 |
| 為替換算調整勘定 | △736 | △1,660 |
| その他の包括利益累計額合計 | 9,082 | 12,323 |
| 非支配株主持分 | 6,884 | 7,100 |
| 純資産合計 | 191,388 | 210,426 |
| 負債純資産合計 | 390,004 | 405,719 |

2 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 584,858 | 572,757 |
| 売上原価 | ※1 485,784 | ※1 473,954 |
| 売上総利益 | 99,074 | 98,803 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費及び保管費 | 17,943 | 17,991 |
| 販売促進費 | 1,077 | 1,122 |
| 広告宣伝費 | 4,534 | 2,886 |
| 役員報酬及び従業員給料・賞与・手当 | 18,742 | 19,199 |
| 退職給付費用 | 934 | 971 |
| 法定福利及び厚生費 | 3,334 | 3,906 |
| 旅費交通費及び通信費 | 2,318 | 1,062 |
| 賃借料 | 2,007 | 2,062 |
| 業務委託費 | 3,910 | 3,966 |
| 研究開発費 | ※2 2,486 | ※2 2,403 |
| その他 | 10,748 | 10,279 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 68,038 | 65,853 |
| 営業利益 | 31,035 | 32,949 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 158 | 103 |
| 受取配当金 | 737 | 776 |
| 持分法による投資利益 | 387 | 376 |
| その他 | 607 | 540 |
| 営業外収益合計 | 1,891 | 1,798 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 791 | 709 |
| その他 | 358 | 506 |
| 営業外費用合計 | 1,150 | 1,215 |
| 経常利益 | 31,777 | 33,532 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | ※3 81 | ※3 49 |
| 投資有価証券売却益 | 423 | 144 |
| 収用補償金 | — | 565 |
| その他 | — | 110 |
| 特別利益合計 | 505 | 870 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | ※4 22 | ※4 7 |
| 固定資産除却損 | ※5 1,628 | ※5 1,380 |
| 減損損失 | ※6 481 | ※6 1,273 |
| その他 | 357 | 137 |
| 特別損失合計 | 2,489 | 2,799 |
| 税金等調整前当期純利益 | 29,792 | 31,603 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,566 | 9,684 |
| 法人税等調整額 | △557 | △730 |
| 法人税等合計 | 9,008 | 8,954 |
| 当期純利益 | 20,784 | 22,649 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 1,174 | 1,437 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 19,609 | 21,212 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 20,784 | 22,649 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,978 | 3,319 |
| 繰延ヘッジ損益 | 151 | 837 |
| 為替換算調整勘定 | △10 | △973 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 154 | △224 |
| その他の包括利益合計 | ※1 △4,683 | ※1 2,959 |
| 包括利益 | 16,100 | 25,609 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 14,628 | 24,452 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 1,471 | 1,156 |

3 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|--------|--------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 30,307 | 7,617 | 142,274 | △17,443 | 162,756 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 51 | 51 | | | 103 |
| 剰余金の配当 | | | △4,930 | | △4,930 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 19,609 | | 19,609 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | △1,918 | | | △1,918 |
| 自己株式の取得 | | | | △199 | △199 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 0 | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 51 | △1,867 | 14,679 | △199 | 12,664 |
| 当期末残高 | 30,359 | 5,750 | 156,953 | △17,642 | 175,421 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|--------------|---------|----------|---------------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 13,997 | 661 | △594 | 14,063 | 6,985 | 183,805 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | | 103 |
| 剰余金の配当 | | | | | | △4,930 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 19,609 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | | △1,918 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △199 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △4,980 | 141 | △141 | △4,980 | △101 | △5,081 |
| 当期変動額合計 | △4,980 | 141 | △141 | △4,980 | △101 | 7,582 |
| 当期末残高 | 9,016 | 802 | △736 | 9,082 | 6,884 | 191,388 |

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|-------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 30,359 | 5,750 | 156,953 | △17,642 | 175,421 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 59 | 59 | | | 119 |
| 剰余金の配当 | | | △5,729 | | △5,729 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 21,212 | | 21,212 |
| 連結子会社の増資による持分の増減 | | △14 | | | △14 |
| 自己株式の取得 | | | | △7 | △7 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 0 | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 59 | 44 | 15,482 | △6 | 15,580 |
| 当期末残高 | 30,418 | 5,795 | 172,436 | △17,648 | 191,002 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|---------------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 9,016 | 802 | △736 | 9,082 | 6,884 | 191,388 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | | 119 |
| 剰余金の配当 | | | | | | △5,729 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 21,212 |
| 連結子会社の増資による持分の増減 | | | | | | △14 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △7 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 3,327 | 836 | △923 | 3,240 | 216 | 3,456 |
| 当期変動額合計 | 3,327 | 836 | △923 | 3,240 | 216 | 19,037 |
| 当期末残高 | 12,344 | 1,639 | △1,660 | 12,323 | 7,100 | 210,426 |

4 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 29,792 | 31,603 |
| 減価償却費 | 18,355 | 19,669 |
| 減損損失 | 481 | 1,273 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 4 | △17 |
| 受取利息及び受取配当金 | △896 | △880 |
| 支払利息 | 791 | 709 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △387 | △376 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △58 | △42 |
| 固定資産除却損 | 1,628 | 1,380 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △423 | △144 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 4,750 | 531 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △2,098 | △477 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 635 | △234 |
| 収用補償金 | — | △565 |
| その他 | 2,833 | △4,470 |
| 小計 | 55,408 | 47,958 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,063 | 1,190 |
| 収用補償金の受取額 | — | 565 |
| 利息の支払額 | △798 | △712 |
| 法人税等の支払額 | △16,232 | △3,547 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 39,441 | 45,453 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △20,369 | △28,529 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 161 | 1,623 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,336 | △2,124 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,204 | △392 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 707 | 257 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △27 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 | △24 | — |
| その他 | △1,235 | △3,019 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △24,300 | △32,213 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △2,818 | 2,456 |
| コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少) | — | △2,000 |
| 長期借入れによる収入 | 10,000 | 409 |
| 長期借入金の返済による支出 | △5,200 | △955 |
| 社債の発行による収入 | — | 9,951 |
| 社債の償還による支出 | — | △10,000 |
| リース債務の返済による支出 | △3,782 | △3,886 |
| 自己株式の取得による支出 | △18 | △7 |
| 配当金の支払額 | △4,923 | △5,722 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △803 | △955 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △2,680 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △10,225 | △10,709 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △148 | 45 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 4,765 | 2,577 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 20,668 | 25,434 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | ※1 25,434 | ※1 28,011 |

5 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期等に関して先行きを予測することは未だ困難な状況であります。当社グループでは、今後ワクチン投与の進展などにより2022年3月期を通して収束・回復局面に向かうことを前提として、会計上の見積りを行っております。

(未適用の会計基準等)

1. 「収益認識に関する会計基準」等

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)

「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)

「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)

(1) 概要

国際会計基準審議会(IASB)及び米国財務会計基準審議会(FASB)は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、2014年5月に「顧客との契約から生じる収益」(IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606)を公表しており、IFRS第15号は2018年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は2017年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわせない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首から適用します。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による連結財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

2. 「時価の算定に関する会計基準」等

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日 企業会計基準委員会)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 2019年7月4日 企業会計基準委員会)

「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日 企業会計基準委員会)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日 企業会計基準委員会)

「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)

(1) 概要

国際会計基準審議会(IASB)及び米国財務会計基準審議会(FASB)が、公正価値測定についてほぼ同じ内容の詳細なガイダンス(国際財務報告基準(IFRS)においてはIFRS第13号「公正価値測定」、米国会計基準においてはAccounting Standards CodificationのTopic 820「公正価値測定」)を定めている状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、主に金融商品の時価に関するガイダンス及び開示に関して、日本基準を国際的な会計基準との整合性を図る取組みが行われ、「時価の算定に関する会計基準」等が公表されたものです。

企業会計基準委員会の時価の算定に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、統一的な算定方法を用いることにより、国内外の企業間における財務諸表の比較可能性を向上させる観点から、IFRS第13号の定めを基本的にすべて取り入れることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮し、財務諸表間の比較可能性を大きく損なわせない範囲で、個別項目に対するその他の取扱いを定めることとされております。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首から適用します。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準」等の適用による連結財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中
あります。

(連結貸借対照表関係)

※1 関連会社に係る株式及び出資金は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------|
| 投資有価証券(株式) | 6,875百万円 | 6,843百万円 |
| その他(出資金) | 370 | 400 |

※2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|----|-------------------------|-------------------------|
| 土地 | 729百万円 | 729百万円 |

担保付債務は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|-------|-------------------------|-------------------------|
| 長期借入金 | 1,200百万円 | 1,200百万円 |

※3 国庫補助金等により固定資産の取得価額から控除した圧縮記帳累計額は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------|
| 建物及び構築物 | 701百万円 | 3,943百万円 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,289 | 1,498 |
| 土地 | 1,366 | 1,366 |
| その他の有形固定資産 | 8 | 8 |

(連結損益計算書関係)

※1 通常の販売目的で保有するたな卸資産の収益性の低下による簿価切下額は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------|--|--|
| 売上原価 | 46百万円 | 175百万円 |

※2 販売費及び一般管理費に含まれる研究開発費は次のとおりであります。なお、当期製造費用に含まれる研究開発費はありません。

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------|--|--|
| 販売費及び一般管理費 | 2,486百万円 | 2,403百万円 |

※3 固定資産売却益の内訳は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | |
|-----------|--|-----------|--|--|
| 機械装置及び運搬具 | 45百万円 | 機械装置及び運搬具 | 46百万円 | |
| 土地 | 34 | 土地 | — | |
| その他 | 0 | その他 | 3 | |
| 合計 | 81 | 合計 | 49 | |

※4 固定資産売却損の内訳は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | |
|-----------|--|-----------|--|--|
| 建物及び構築物 | 0百万円 | 建物及び構築物 | 2百万円 | |
| 機械装置及び運搬具 | 1 | 機械装置及び運搬具 | 4 | |
| 工具器具備品 | 20 | 工具器具備品 | 0 | |
| その他 | — | その他 | 0 | |
| 合計 | 22 | 合計 | 7 | |

※5 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | |
|-----------|--|-----------|--|--|
| 建物及び構築物 | 158百万円 | 建物及び構築物 | 265百万円 | |
| 機械装置及び運搬具 | 126 | 機械装置及び運搬具 | 217 | |
| リース資産 | 20 | リース資産 | 17 | |
| その他 | 18 | その他 | 10 | |
| 撤去費用 | 1,304 | 撤去費用 | 869 | |
| 合計 | 1,628 | 合計 | 1,380 | |

※6 減損損失

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

減損損失を計上した主な資産は以下のとおりです。また、この他に86百万円の減損損失を計上しております。

| 用途 | 種類 | 場所 | 減損損失 (百万円) |
|----------|---------|------------|---------------|
| 不動産事業用資産 | 建物及び構築物 | 日本 東京都千代田区 | 200 |
| 低温物流事業 | のれん | フランス | 195 |

(不動産事業用資産)

当社グループは、不動産事業用資産については、個別物件ごとにグルーピングしております。

上記資産グループについては、大規模リニューアル工事に伴い処分が見込まれる建物及び構築物の帳簿価額相当額200百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能額は正味売却価額により測定しており、撤去が決定しているため正味売却価額を0円として評価しております。

(のれん)

当社グループは、低温物流事業については、個社ごとにグルーピングしております。

減損損失を計上したのれんについては、投資に見合う回収が不可能と判断されることから、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額195百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを8.0%で割り引いて算定しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(1) 減損損失を計上した主な資産

| 用途 | 種類 | 場所 | 減損損失 (百万円) |
|-----|-----|----|---------------|
| その他 | のれん | 米国 | 1,019 |

(注) 上記の他に254百万円の減損損失を計上しております。

(2) 減損損失を認識するに至った経緯

その他の事業のバイオサイエンス事業にかかるのれんについて、事業計画の策定に際し将来の不確実性を検討した結果、帳簿価額の全額1,019百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 資産のグルーピング方法

当社グループは、その他の事業については、個社ごとにグルーピングしております。

(4) 回収可能価額の算定方法

のれんの回収可能価額は使用価値により測定しており、回収可能価額をゼロと算定しております。

(連結包括利益計算書関係)

※1 その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期発生額 | △6,472百万円 | 4,824百万円 |
| 組替調整額 | △424 | △144 |
| 税効果調整前 | △6,897 | 4,679 |
| 税効果額 | 1,919 | △1,359 |
| その他有価証券評価差額金 | △4,978 | 3,319 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 当期発生額 | 214 | 1,207 |
| 税効果額 | △63 | △369 |
| 繰延ヘッジ損益 | 151 | 837 |
| 為替換算調整勘定 | | |
| 当期発生額 | △97 | △973 |
| 組替調整額 | 86 | — |
| 為替換算調整勘定 | △10 | △973 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | | |
| 当期発生額 | 154 | △224 |
| 税効果額 | 0 | △0 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 154 | △224 |
| その他の包括利益合計 | △4,683 | 2,959 |

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(単位:株)

| | 当連結会計年度期首 株式数 | 当連結会計年度 増加株式数 | 当連結会計年度 減少株式数 | 当連結会計年度末 株式数 |
|---------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 (注) 1 | 139,925,532 | 40,055 | — | 139,965,587 |
| 合計 | 139,925,532 | 40,055 | — | 139,965,587 |
| 自己株式 | | | | |
| 普通株式 (注) 2, 3 | 6,658,466 | 81,520 | 196 | 6,739,790 |
| 合計 | 6,658,466 | 81,520 | 196 | 6,739,790 |

(注) 1 普通株式の発行済株式の増加40,055株は譲渡制限付株式報酬としての新株の発行によるものであります。

2 普通株式の自己株式の増加81,520株の内訳は次のとおりであります。

(変動事由の概要)

所在不明株主の株式買取による増加 77,818株

単元未満株式の買取請求による増加 3,702株

3 普通株式の自己株式の減少196株は単元未満株式の買増請求によるものであります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|
| 2019年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 2,132 | 16 | 2019年3月31日 | 2019年6月26日 |
| 2019年11月5日 取締役会 | 普通株式 | 2,797 | 21 | 2019年9月30日 | 2019年12月5日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|-------|---------------------|------------|------------|
| 2020年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 2,797 | 利益剰余金 | 21 | 2020年3月31日 | 2020年6月25日 |

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(単位：株)

| | 当連結会計年度期首 株式数 | 当連結会計年度 増加株式数 | 当連結会計年度 減少株式数 | 当連結会計年度末 株式数 |
|---------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 (注) 1 | 139,965,587 | 38,290 | — | 140,003,877 |
| 合計 | 139,965,587 | 38,290 | — | 140,003,877 |
| 自己株式 | | | | |
| 普通株式 (注) 2, 3 | 6,739,790 | 2,454 | 316 | 6,741,928 |
| 合計 | 6,739,790 | 2,454 | 316 | 6,741,928 |

- (注) 1 普通株式の発行済株式の増加は譲渡制限付株式報酬としての新株の発行によるものであります。
 2 普通株式の自己株式の増加は単元未満株式の買取請求によるものであります。
 3 普通株式の自己株式の減少は単元未満株式の買増請求によるものであります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|
| 2020年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 2,797 | 21 | 2020年3月31日 | 2020年6月25日 |
| 2020年11月4日 取締役会 | 普通株式 | 2,931 | 22 | 2020年9月30日 | 2020年12月4日 |

- (2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの
 次のとおり決議を予定しております。

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|-------|---------------------|------------|------------|
| 2021年6月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 3,731 | 利益剰余金 | 28 | 2021年3月31日 | 2021年6月23日 |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定 | 25,933百万円 | 28,933百万円 |
| 預入期間が3ヵ月を超える定期預金 | △499 | △922 |
| 現金及び現金同等物 | 25,434 | 28,011 |

(セグメント情報等)

1 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社及び当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象として商製品・サービス別に「加工食品」、「水産」、「畜産」、「低温物流」及び「不動産」としております。

各事業の概要は次のとおりであります。

- 加工食品：調理冷凍食品・農産加工品・レトルト食品・ウェルネス食品・アセロラ・包装氷の製造・加工・販売
- 水産：水産品の加工・販売
- 畜産：畜産品の加工・販売、肉用鶏の飼育・販売
- 低温物流：輸配送サービス・配送センター機能の提供、物流コンサルティング、保管サービスの提供、凍氷の製造・販売、建築工事・設計
- 不動産：オフィスビル・駐車場の賃貸、不動産の管理

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書（2020年6月24日提出）により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は第三者間取引価格に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 連結 財務諸表 計上額 (注3) |
|------------------------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|-------------|---------|-------------|---------------------------|
| | 加工食品 | 水産 | 畜産 | 低温物流 | 不動産 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 234,395 | 65,590 | 86,173 | 190,446 | 3,339 | 579,946 | 4,912 | 584,858 | — | 584,858 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 386 | 181 | 2,153 | 16,050 | 1,625 | 20,396 | 769 | 21,165 | △21,165 | — |
| 計 | 234,781 | 65,772 | 88,327 | 206,496 | 4,965 | 600,343 | 5,681 | 606,024 | △21,165 | 584,858 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 16,725 | 443 | 905 | 11,824 | 1,982 | 31,881 | △280 | 31,600 | △564 | 31,035 |
| セグメント資産 | 128,407 | 26,928 | 18,949 | 169,648 | 15,562 | 359,497 | 10,997 | 370,494 | 19,509 | 390,004 |
| その他の項目 | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 5,894 | 151 | 267 | 9,840 | 701 | 16,855 | 410 | 17,266 | 1,089 | 18,355 |
| のれんの償却額 | 104 | — | — | 81 | — | 185 | 97 | 283 | — | 283 |
| 持分法適用会社への 投資額 | 2,314 | — | — | 3,178 | — | 5,493 | — | 5,493 | 1,753 | 7,246 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 8,054 | 209 | 138 | 17,072 | 476 | 25,952 | 256 | 26,209 | 1,078 | 27,287 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、緑化管理・清掃関連サービスの事業を含んでおります。

2 調整額の内容は次のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△39,431百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益38,867百万円であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、セグメント間の債権の相殺消去等△178,945百万円及び全社資産198,455百万円であります。
全社資産の主なものは、各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに属しない持分法適用会社への投資額であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 連結 財務諸表 計上額 (注3) |
|------------------------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|-------------|---------|-------------|---------------------------|
| | 加工食品 | 水産 | 畜産 | 低温物流 | 不動産 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 225,180 | 62,987 | 81,685 | 195,723 | 3,077 | 568,654 | 4,103 | 572,757 | — | 572,757 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 269 | 107 | 2,414 | 16,597 | 1,568 | 20,957 | 796 | 21,753 | △21,753 | — |
| 計 | 225,450 | 63,095 | 84,099 | 212,320 | 4,646 | 589,611 | 4,899 | 594,511 | △21,753 | 572,757 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 17,167 | 521 | 1,298 | 13,084 | 2,017 | 34,089 | △325 | 33,764 | △814 | 32,949 |
| セグメント資産 | 138,592 | 26,005 | 19,344 | 181,136 | 16,702 | 381,781 | 8,992 | 390,774 | 14,945 | 405,719 |
| その他の項目 | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 6,525 | 148 | 257 | 10,473 | 712 | 18,117 | 380 | 18,497 | 1,171 | 19,669 |
| のれんの償却額 | 103 | — | — | 53 | — | 156 | 90 | 247 | — | 247 |
| 持分法適用会社への 投資額 | 2,401 | — | — | 3,157 | — | 5,558 | — | 5,558 | 1,685 | 7,244 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 13,438 | 322 | 110 | 19,973 | 2,300 | 36,145 | 66 | 36,212 | 1,617 | 37,829 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、緑化管理・清掃関連サービスの事業を含んでおります。

2 調整額の内容は次のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去△7,804百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係る損益6,989百万円であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、セグメント間の債権の相殺消去等△189,504百万円及び全社資産204,449百万円であります。
全社資産の主なものは、各報告セグメントに配分していない持株会社 (連結財務諸表提出会社) の余資運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券) 及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに属しない持分法適用会社への投資額であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2 関連情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 百万円)

| 日本 | 海外 | 合計 |
|---------|--------|---------|
| 505,190 | 79,667 | 584,858 |

(2) 有形固定資産

(単位: 百万円)

| 日本 | 海外 | 合計 |
|---------|--------|---------|
| 145,691 | 17,541 | 163,233 |

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 百万円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|-----------|--------|------------|
| 三菱食品株式会社 | 75,474 | 加工食品 |

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 百万円)

| 日本 | 海外 | 合計 |
|---------|--------|---------|
| 495,907 | 76,850 | 572,757 |

(2) 有形固定資産

(単位: 百万円)

| 日本 | 海外 | 合計 |
|---------|--------|---------|
| 152,432 | 21,529 | 173,962 |

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 百万円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|-----------|--------|------------|
| 三菱食品株式会社 | 72,991 | 加工食品 |

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 連結財務諸表計上額 |
|------|---------|----|----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
| | 加工食品 | 水産 | 畜産 | 低温物流 | 不動産 | 計 | | | | |
| 減損損失 | 40 | 0 | - | 240 | 200 | 481 | - | 481 | - | 481 |

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他(注) | 合計 | 調整額 | 連結財務諸表計上額 |
|------|---------|----|----|------|-----|-----|--------|-------|-----|-----------|
| | 加工食品 | 水産 | 畜産 | 低温物流 | 不動産 | 計 | | | | |
| 減損損失 | 222 | - | - | 32 | - | 254 | 1,019 | 1,273 | - | 1,273 |

(注)「その他」の金額は、バイオサイエンス事業に係る金額であります。

4 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他(注) | 合計 | 調整額 | 連結財務諸表計上額 |
|-------|---------|----|----|------|-----|-------|--------|-------|-----|-----------|
| | 加工食品 | 水産 | 畜産 | 低温物流 | 不動産 | 計 | | | | |
| 当期償却額 | 104 | - | - | 81 | - | 185 | 97 | 283 | - | 283 |
| 当期末残高 | 1,091 | - | - | 524 | - | 1,616 | 1,137 | 2,754 | - | 2,754 |

(注)「その他」の金額は、バイオサイエンス事業に係る金額であります。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他(注) | 合計 | 調整額 | 連結財務諸表計上額 |
|-------|---------|----|----|------|-----|-------|--------|-------|-----|-----------|
| | 加工食品 | 水産 | 畜産 | 低温物流 | 不動産 | 計 | | | | |
| 当期償却額 | 103 | - | - | 53 | - | 156 | 90 | 247 | - | 247 |
| 当期末残高 | 951 | - | - | 542 | - | 1,493 | - | 1,493 | - | 1,493 |

(注)「その他」の金額は、バイオサイエンス事業に係る金額であります。

5 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,384.90円 | 1,525.76円 |
| 1株当たり当期純利益 | 147.16円 | 159.19円 |

(注) 1 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額 (百万円) | 191,388 | 210,426 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円) 非支配株主持分 | 6,884 | 7,100 |
| 普通株式に係る純資産額 (百万円) | 184,504 | 203,325 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (千株) | 133,225 | 133,261 |

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|----------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 19,609 | 21,212 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円) | 19,609 | 21,212 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 133,251 | 133,251 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上